



# 輝いている人を紹介します まちのキラリ part2

伊達中学校 3年生  
全国中学校体育大会 女子100m平泳ぎ  
第3位 (記録: 1分11秒15)

遠藤 舞羽 さん (伊達地域)

記録を1秒縮めるために、並々ならぬ努力が必要な競技の世界。昨年、全国中学校体育大会に出場できなかった悔しさをバネに練習を重ね、1年でベストタイムを約2秒更新した遠藤さん。プレッシャーをはねのけ、つかみ取ったメダルは重かった。



Profile ●えんどう まう

2009年生まれ。14歳。「英語は苦手で、数学は得意。好きな授業は体育!(球技除く)」と笑顔で話す伊達中学校の3年生。持ち前の明るさと、今までの経験を武器に、水泳に没頭中。



●全国中学校体育大会

日本中学校体育連盟が主催する体育大会で、中学校の日本最高峰の大会。水泳競技決勝戦は、8月18日@~19日@に、石川県金沢市の「金沢プール」で開催された。

一番得意だったからです。小学生の時からずっと平泳ぎです。高校進学後も水泳は続けるつもりなので、いずれ個人メドレーにも挑戦してみたいです。

## 「平泳ぎ」を選んだ理由

5歳の時、シャンプーもできないうらい水が苦手だった私。心配した母がスイミングスクールに通わせたのが始まりでした。水泳を楽しいと感じた私は、小学生から「選手コース」に変更し、本格的に練習するようになった。今は日曜日以外は、下校後に練習を重ねる日々です。日曜日も大会参加などで忙しいですが、何もない時は飼っている猫とゴロゴロしています(笑)。



▲家の中に設置した「うんてい」で筋トレ

別の大会の話になってしましますが、ジュニアオリンピック大会という全国の舞台で初めてメダルをもらった時、本当にうれしかったです。いずれオリンピックにも出たいです!そのために、練習でも良いタイムが出せるようにフォームを意識し、ストレッチなどを日常に取り入れています。



全国中学校体育大会初日は、200m競泳でターン時の泳法が規則上失格になり、順位がつかせませんでした。悔しい気持ちで落ち込んでしまったのですが、一緒にスイミングを習っている友達、合宿をともにした県代表の友達などが励ましてくれました。不安だったけど、気持ちを持ち直して、2日目の100m競泳では力を発揮して入賞することができました。応援してくれる人たちがスイミングスクールのコーチにはとても感謝しています。これからもがんばります。取材の場を借りて、特に想いを伝えたい人である「お母さん」に一言だけ。「いつもありがとう!」

# 輝いている人を紹介します まちのキラリ part1

第65回県農業賞(農業経営改善部門) 受賞

有限会社穂友 代表取締役  
梅澤 博之 さん (霊山地域)

耕作放棄地を生み出さないため、「穂友」は水稲栽培を作業受託という形で積極的に受け入れてきた。梅澤さんから「誰か一人欠けてもできなかった。積み重ねの成果です」と受賞コメントが聞けた。思いを新たに、地域農業の発展にこれからも貢献していく。



Profile ●うめざわ ひろゆき

1956年生まれ。68歳。霊山町で生まれ育つ。高校卒業後、就農。「長男だから...というより自分で決めた進路」と話す。



●有限会社 穂友

霊山町小国地区にある農業生産法人。平成15年に法人化。厳選したブランド米「うまい米」はとにかくうまい。道の駅などで販売、ふるさと納税の返礼品に使われている。「農産物直売所かぼちゃ」の運営も行う。営業時間: 8時30分~17時 定休日: 年末年始 主要作物(経営規模) 水田967アール、畑57.6アール

地域のため「しっかり守りたい」  
有限会社「穂友」は、平成8年3月に設立された育苗センターの運営主体「霊山町水稲機械利用組合」を法人化したもので、水稲の苗供給や田植え・稲刈り・調整(初摺り)などの受託を行ってきました。  
当時、果樹専門だった私は、育苗センターで田植えオペレーターから稲作のイロハを学びました。その時に学んだら人が、今の「穂友」を立ち上げたんです。みんな自宅で農業をしながらでしたが、うまく立ちいかなくなると「人任せでは長続きしない。本気でやらなければ」と、私が最初に専従で組織に入ったんです。当時の決断が今につながっていると今思うと感慨深いですね。

直売所に出してくれる農家サイドではなくて...  
直売所に出してくれる農家サイドで動く気持ちが強まったのは、震災時から。なんととしても農家を守りたくて、当時、会社として放射性物質の吸収抑制対策を伊達市から受託しました。直売所の売り上げは震災前がピークでした。会員さんも高齢化が進み、店を畳むことを考えましたが、憩いの場としても来てくれる地域の皆さんに支えられています。「復興・絆プロジェクト」の収穫祭といったイベントを大切に、これからも守っていききたいですね。



穂友 HP



儲かるわけない(笑)でもやる  
最盛期は役員だけでは手が回らないので、近隣農家さんを臨時雇用して乗り切ります。それでも、ここがなくなったら困る農家さんがいる以上、やり続けますよ。スマート農業としてパソコンでは場情報を管理するなど工夫は絶えませんが、何より、若い役員が入ってくれたことで、地域農業の未来は明るいなど、ほっとしています。



9月2日(月)、内堀雅雄知事から表彰状を授与される梅澤さんと取締役の清野翔太さん。